



略歴



UNITED STATES AIR FORCE

COLONEL ANDREW J. CAMPBELL

アンドリュー・J・キャンベル大佐

アンドリュー・J・キャンベル大佐は、横田基地および第374空輸航空団の司令官を務める。太平洋地域における国防総省唯一の空輸航空団の運用・訓練・指揮統制の責任を担う。横田基地は西太平洋の空輸拠点として、米国の前方展開と危機対応を保障する為、即応態勢の整った部隊および基地運用支援を提供する。

キャンベル大佐は、1997年にペンシルベニア州立大学で予備役将校訓練課程を経て入隊。アメリカ欧州軍司令部、アメリカ輸送軍において北大西洋条約機構(NATO)との連絡調整官、アメリカ空軍参謀本部第8部での任務を歴任した。また、横田基地第36空輸中隊司令官を務めた経歴を持ち、その前の第459空輸中隊における初めての飛行任務では C-21A のパイロットを務めた。前職は、アフガニスタン、バگرام基地第455航空遠征航空団副司令官。

キャンベル大佐は、C-130J、C-130E/H、および C-21の飛行経験を持ち、4,700飛行時間および750時間以上の戦闘作戦経験を持つコマンドパイロットである。



学歴

- 1997年 ペンシルベニア州立大学 地理学理学士
- 2002年 アラバマ州マックスウェル空軍基地 中隊長士官学校
- 2007年 ペンシルベニア州立大学 地理情報システム修士
- 2010年 アラバマ州マックスウェル空軍基地 空軍指揮幕僚大学 軍作戦研究課修士
- 2012年 空軍戦争大学(通信)
- 2017年 ワシントン D.C. 国防大学 国家安全保障戦略研究修士

職歴

- 1997年 9月-1999年 1月 オクラホマ州バンス空軍基地統合軍専門パイロット訓練生
- 1999年 1月-2002年 1月 横田基地第459空輸中隊 C-21A 教官パイロット/評価パイロット、標準化および評価部長
- 2002年 1月-2005年 10月 テキサス州ダイエス空軍基地第39空輸中隊作戦部長、C-130H 教官パイロット/評価パイロット
- 2005年 10月-2009年 7月 アーカンソー州リトルロック空軍基地第314空輸航空団安全部 C-130H 飛行試験ユニット 教官パイロット/評価パイロット; 航空団安全部長、標準化および評価部長
- 2009年 7月-2010年 6月 アラバマ州マックスウェル空軍基地空軍指揮幕僚大学学生
- 2010年 6月-2011年 2月 ワシントン D.C. アメリカ空軍参謀本部戦略計画副参謀室長室、作戦本部、グローバル機動力部門、計画調整および戦域内空輸部門主任

7. 2011年2月－2012年7月 ワシントン D.C. アメリカ空軍参謀本部戦略計画部副参謀室長室、作戦本部、計画調整部門、軍事演習支部副主任
8. 2012年7月－2014年6月 横田基地第36空輸中隊作戦部長
9. 2014年6月－2016年6月 横田基地第36空輸中隊司令官
10. 2016年6月－2017年7月 ワシントン D.C. 国防大学学生
11. 2017年7月－2018年7月 ベルギー、モンスのアメリカ輸送軍にて NATO との連絡調整官
12. 2018年7月－2019年5月 ドイツ・シュトゥットガルト・パッチバラックス、アメリカ欧州軍司令部ポリシーならびに能力開発本部、戦略部門副部長
13. 2019年5月－2020年6月 アフガニスタン・バグラム基地、第455航空遠征航空団副司令官
14. 2020年6月－現在 横田基地および第374空輸航空団司令官

統合任務

1. 2017年7月－2018年7月 ベルギー、モンスのアメリカ輸送軍にて NATO と連絡調整官
2. 2018年7月－2019年5月 アメリカ欧州軍司令部戦略部門副部長

飛行経歴

等級: コマンドパイロット

飛行時間: 4,700 時間以上

飛行機種: T-37、T-1、C-21A、C-130E/H、C-130J、KC-135、E-11

主な受勲

国防功績章

功績章 3 回

航空章 5 回

空軍称揚章 2 回

空軍功労章 2 回

空軍優秀部隊バローデバイス賞 11 回

航空自衛隊航空幕僚長より三等防衛協力章を受章

昇任

1997年5月16日 少尉

1999年5月1日 中尉

2001年5月1日 大尉

2007年2月1日 少佐

2012年5月1日 中佐

2018年10月1日 大佐

2020年6月 現在